

症例検討で身につける

脳卒中の理学療法

エキスパートPTによる20症例の臨床推論と効果的なりハプログラム



contents

● 監修の序	玉木 彰
● 編集の序	諸橋 勇
● 略語一覧	8

第1章 急性期

1 心原性脳塞栓症（右片麻痺・全失語・意識障害） リスク管理を行なながら廃用症候群を予防し、どう運動を引き出すか？	和泉謙二	10
2 右被殼出血（血腫量30mL）（左片麻痺） 安定な座位バランスをどう獲得するのか？	藤野雄次	23
3 アテローム血栓性脳梗塞（左片麻痺） 早期立位をいつからどのように行うことが効果的か？	平塚 勝, 楠永 薫	34
4 右レンズ核線条体動脈領域の脳梗塞（左片麻痺） 歩行のための装具療法の適応は、どう判断され実施されるのか？	神 将文, 阿部浩明	45
5 左視床出血（CT分類Ⅲb）（右片麻痺, 病態失認） Pusher現象を改善させるための留意点と介入方法とは？	阿部浩明	56

第2章 回復期

1 脳梗塞（左放線冠のBAD）（右片麻痺） ボディイメージをどのように捉え、介入へ活かすか？	小澤佑介	70
---	------	----

2	左中大脳動脈領域梗塞、右前大脳動脈領域梗塞（前頭葉高次運動野機能不全） ベッド上で動けない要因を分析し、効率的に動作獲得する介入とは？	高見彰淑	80
3	左中大脳動脈領域の脳梗塞（左片麻痺、右への共同偏視） 座位・立位困難な症例を歩かせるために、どう道具を用いるのか？	平野明日香	90
4	左前頭葉皮質下出血（右片麻痺、運動性失語、構音障害） 麻痺側下肢の強い痙攣を軽減し、機能的な運動をどう引き出すか？	森下一幸	99
5	右頭頂葉の脳梗塞（左片麻痺） 座位バランス・立ち上がりの改善のため、体幹機能にどう介入するか？	玉利 誠	109
6	左被殼出血（右片麻痺、失語症、構音障害、高次脳機能障害） 麻痺側立脚期の膝過伸展を改善し、下肢へ十分荷重させるには？	関 公輔	119
7	脳幹の脳梗塞（左上下肢の機能障害） 麻痺側遊脚期の足クリアランスが不十分な場合に必要な介入とは？	生野公貴	133
8	脳梗塞（左片麻痺、注意障害、左半側空間無視） 病識に乏しい左半側空間無視症例に有用な介入とは？	万治淳史	144
9	左被殼出血、陳旧性多発性脳梗塞（両片麻痺、体幹機能障害、仮性球麻痺） 姿勢を改善させることは摂食・嚥下障害に有効か？	下杉祐子、佐藤英雄	157
10	右前頭葉～頭頂葉皮質下出血（左片麻痺） 重度の運動／感覚障害をもつ症例に有効な感覚入力と運動療法とは？	藤原愛作	173
11	脳卒中後左片麻痺 歩行改善のために、上肢機能にどう介入するか？	楠本泰士	184
12	脳梗塞左片麻痺（麻痺側立脚期の著明な反張膝） 課題指向型トレーニングで、症例の動作戦略を正しく変更するには？	藤田博暉	195

第3章 生活期

1	脳梗塞左片麻痺（自宅マンションでの独居生活開始） 退院後、歩行機能低下が予測される症例に多職種や地域でどう介入するか？	桑山浩明	206
2	脳梗塞（右半球に散在性の梗塞、左片麻痺） 在宅生活に向けて介護負担軽減を目的に、セルフケアを促す介入とは？	松本昌尚、竹内伸行	216
3	脳梗塞（軽度の障害でADL自立、左片麻痺） 活動範囲を広げ地域のなかで生活するために有用な支援とは？	小森昌彦	224
●	索引		234